

条幅部自由参考

8月26日正午必着

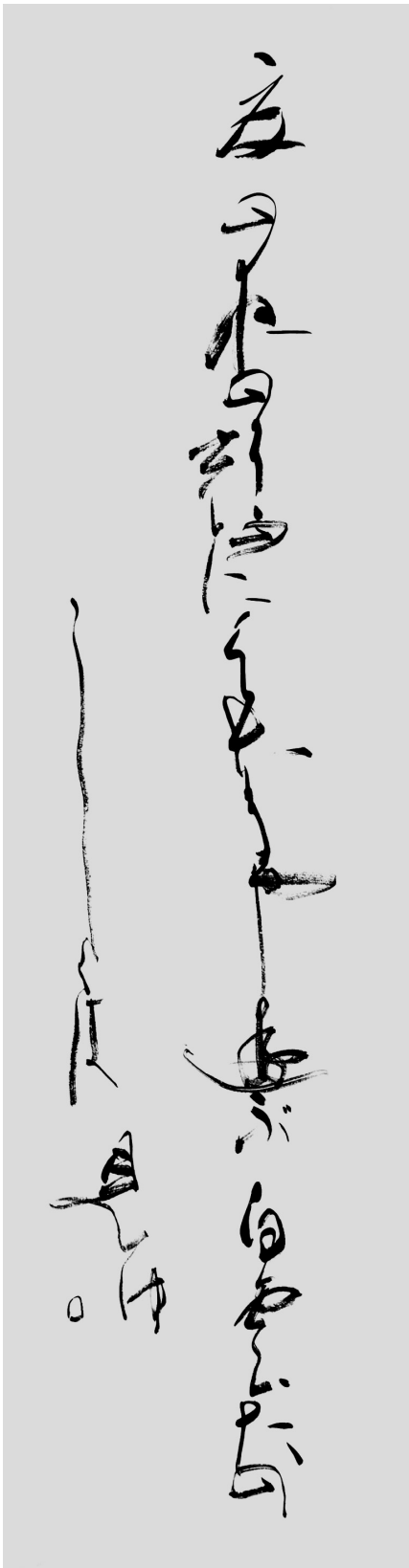
明石春浦先生書



静しずかにあいすはくくうんのえんしゆうしかえるを
静愛白雲歸遠岫（陸游）

静かに飛んでいる白雲を見るのは趣が深い。

明石幸子書



夏なつの夜よの月つきの光ひかりに天あめなるや遊あそぶ白雲しろくもたのしくは見みゆ（窪田 空穂）



飛花不盡隨風起 野水無邊帶雨流 (曾鞏) 風が吹くたびに花が落ち、広々とした野の水が雨と共に増す。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

避暑高樓 (姚合)

暑を高樓に避く

風とおしのよい高樓に登って暑気をさける。

涼風悄然來 竹影窗前碎
何人帶月歸 隔溪聞犬吠 (萬夢丹)

涼風悄然として来り、竹影窓前に砕く。
何人か月を帯びて帰るならん、溪を隔てて犬の吠ゆるを聞く。

涼風がそよと吹いて窓への竹の影がゆれ動く。誰かが月を戴いて帰って来るのであろう。谷川の向うで犬の吠える声がある。

途中送權曙 (皇甫曾)

途中にして権・曙を送る 皇甫曾

淮海風濤起 江關幽思長

淮海風濤起り 江関幽思長し

同悲鵲遶樹 獨作雁隨陽

同じく鵲の樹を遶るを悲しみ 独り雁の陽に随うを作す

山晚雲和雪 天寒月照霜

山は晩れて雲雪に和し 天は寒うして月霜を照らす

由來濯纓處 漁父愛滄浪

由來 纓を濯ぎし処 漁父 滄浪を愛す

蟬の聲にはかに乏しこの朝のあらしになびく 青笹の群 (土田耕平)

半紙部規定課題A

8月26日正午必着

季子笛
遺廟

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

8月26日正午必着

行書

季子留
遺廟

隸書

季子留
遺廟

明石春浦先生書

草書

季子留
遺廟

行草書

季子留
遺廟

呉の地を遊歴し 更に越の地方に行き ただ風まかせ 波まかせに往来する
 までも貴方をお送りするのだが 春の草の茂るのをどうすればよいのでしょうか
 山の頂は明るく まだ雪が残り 潮は満ちて いっぱいに夕陽の日ざし
 いまものこる季子の祠廟 舟をとめて ちょっと立ち寄られるよう

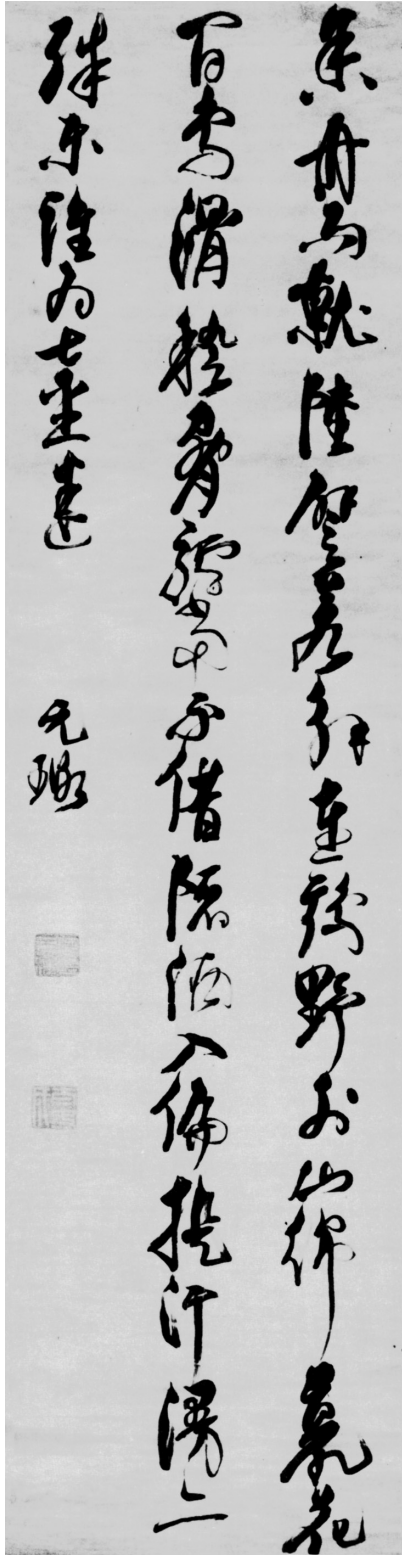
送「韓司直」 皇甫冉

游呉還適越
来往任風波
復送王孫去
其如芳草何
山明殘雪在
潮滿夕陽多
季子留遺廟
停舟試一過

韓司直を送る 皇甫冉

呉に遊び 還た越に適き
来往 風波に任す
復た王孫を送り去る
其れ芳草を如何せん
山明らかにして 残雪在り
潮滿ちて 夕陽多し
季子 遺廟を留む
舟を停めて 試みに一たび過
らんことを

(出典)
朝日新聞社刊
「三体詩」下より



舍舟而就陸

譬若解連雞

野外山綿叢

花間鳥滑稽

脅驢當不借

陷酒入偏提

汗漫亦殊樂

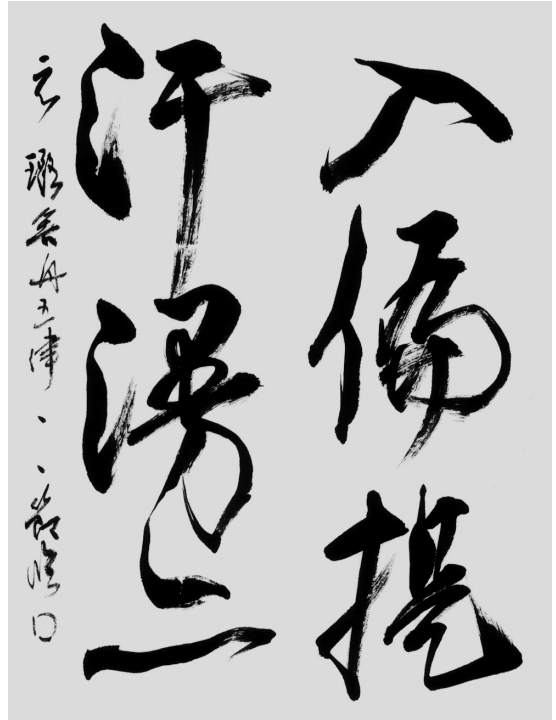
誰為七聖迷

元璐

8月26日正午必着



(鳥は滑) 稽 驢をもとめて 不借をかり 酒に陥りて 偏提に入る 汗漫も亦た殊楽 誰か七聖の迷いを為さん



偏提に入る 汗漫も亦た殊楽

明末清初 倪元璐・舍舟五律

倪元璐(一五九三〜一六四四)は、字は玉汝、号は鴻寶、浙江上虞の出身。天啓二年(一六二二)には黃道周、王鐸らと共に進士に及第した俊秀であった。崇禎のはじめに魏忠賢の遺党である楊維垣を抗疏することによって、周園からの人望を集め、国子祭酒となった。官は戸部尚書に至り翰林院学士を兼ねるほどであった。

しかし、毅宗天皇が自殺して明が滅亡するや、自ら首をくくり国に殉じた。宰相の才を備えることされた英傑忠節の士であったが、詩文書画にも長じ、その書は雄渾で魄力があり、しかもその中に忠義の気性が溢れた。その気骨の強さと超俗の韻致は何よりもその高節な人格から出ていると評価を受け、その残された書画を人々は争って宝にしたといふことである。

書家、倪元璐は明末清初に輩出した行草体の名手の一人として有名であるが、残念ながら伝出している作品は少ない。同時代の張瑞図に比較すると運筆が難解であったり、王鐸のように派手さがなかったために、初学の私共にとって学びにくい点多々あるが、やたらと連綿線を用いず文字と文字との間合いを効果的に取っている点、それでいて興に乗じた軽やかで鋭い運筆、右上がりになる字形の特徴など限らない勉強の可能性があると思われる。

8月26日正午必着

教育部毛筆



えん
演

そう
奏

中学一年

雨宮春聲先生書



えん
縁

にち
日

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



榎戸春龍先生書

たい

よう

小学五年



藤井良泰先生書

めい

ろ

小学六年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

8月26日正午必着



じつ
実 りょく
力

小学三年

藤田幸春先生書



とう
投 しゅ
手

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

つ め 小学一年・幼年



森戸春濤書

広 大 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

森林の恵みをうけて動物たちは命をつなぐ

小学五年

つばめは害虫を取って食べる益鳥です

小学六年

初めて会った人に良い印象をあたえる

中学

羽有り遠方より来るまた楽しからずや

一般(級位)

草むらの底に螢のかけ見えて露は葉のぼる夕暮の庭
 草むらくむらの底そこに螢ほたるのかけ見えて露つゆは葉はのぼる夕暮ゆふぐれの庭には

まつだいらのが

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
 また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

る	み
	つ
か	に
ぶ	
と	あ
む	つ
し	ま

幼年

ト	小
マ	さ
ト	い
を	に
つ	わ
く	で
る	

小学一年

う	八
み	月
へ	の
い	は
き	じ
ま	め
す	に

小学二年

は	花
	や
本	の
や	右
で	ど
す	な
	り

小学三年

住	ま
む	ぼ
と	ろ
い	し
い	の
う	生
山	き
が	物
あ	が
る	

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

ふりゆくものは

あらしの庭を

あらしの庭を

あらしの庭を

あらしの庭を

岩本景楓

岩本景楓先生書

花^{はな}さそ^うふ^う あらしの庭^{にわ}の^にゆ^きなら^らで^でふ^りゆく^もの^はわ^がみ^なり^けり
(藤原公経)